参考②

利活用方針に係る町民への意見募集の結果について

広報りふ５月号に掲載し実施いたしました（旧）十符の里プラザ跡地利活用方針（第３期）に係る意見募集の結果につきましては次のとおりです。

◆調査内容

（１）実 施 日：令和６年４月２４日から同年５月２０日まで
（２）周知方法：広報りふ（５月号 No.586）及び町ホームページ
（３）回答手法：QR コード及び町ホームページ
（４）回 答 数：１２２人（内１件は紙面による回答）、有効回答数１２２人

◆第３期の方針

Ⅰ　交流人口の拡大や賑わい創出など、町の更なる発展につながる拠点の創出

Ⅱ　施設の整備や維持管理には、莫大な費用を要することから民間活力の導入により、町の財政負担を最小限にし、将来にわたり持続可能なものとすること

◆具体的な利活用の内容

（１）起業創業支援「シェアオフィス」（利府駅前 tsumiki の移転）

地域住民が集まり、コミュニティの輪を広げる交流拠点とし、自立した住民活動を支援できる機能や本町で起業・創業する町民、企業を支援するオフィス機能

（２）分譲型マンション

本町での住宅需要の高まりから戸建て住宅の価格高騰が続いており、安心して暮らせる町、選ばれる町を進めるため、立地特性を最大限に活かし、長く住み続けられる分譲型のマンション機能

（３）交流・憩いの場、賑わい創出のテナント

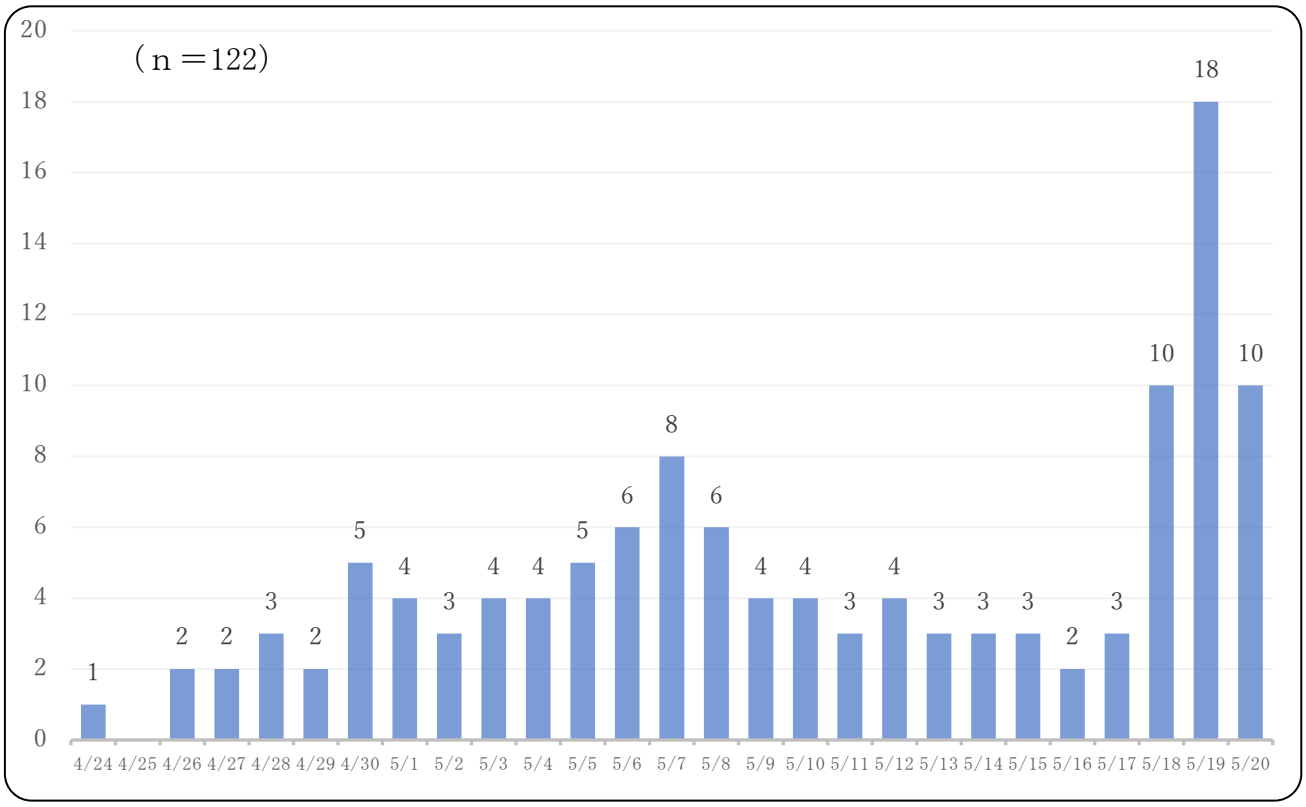
マンション低層部にカフェや子育てテナントを配置することにより、誰もが利用できる開かれた賑わいの創出

（４）土地の売却

（１）～（３）の具体的な利活用を図るためには、企画提案型競争入札（プロポーザル方式）で決定した事業者への土地売却が条件

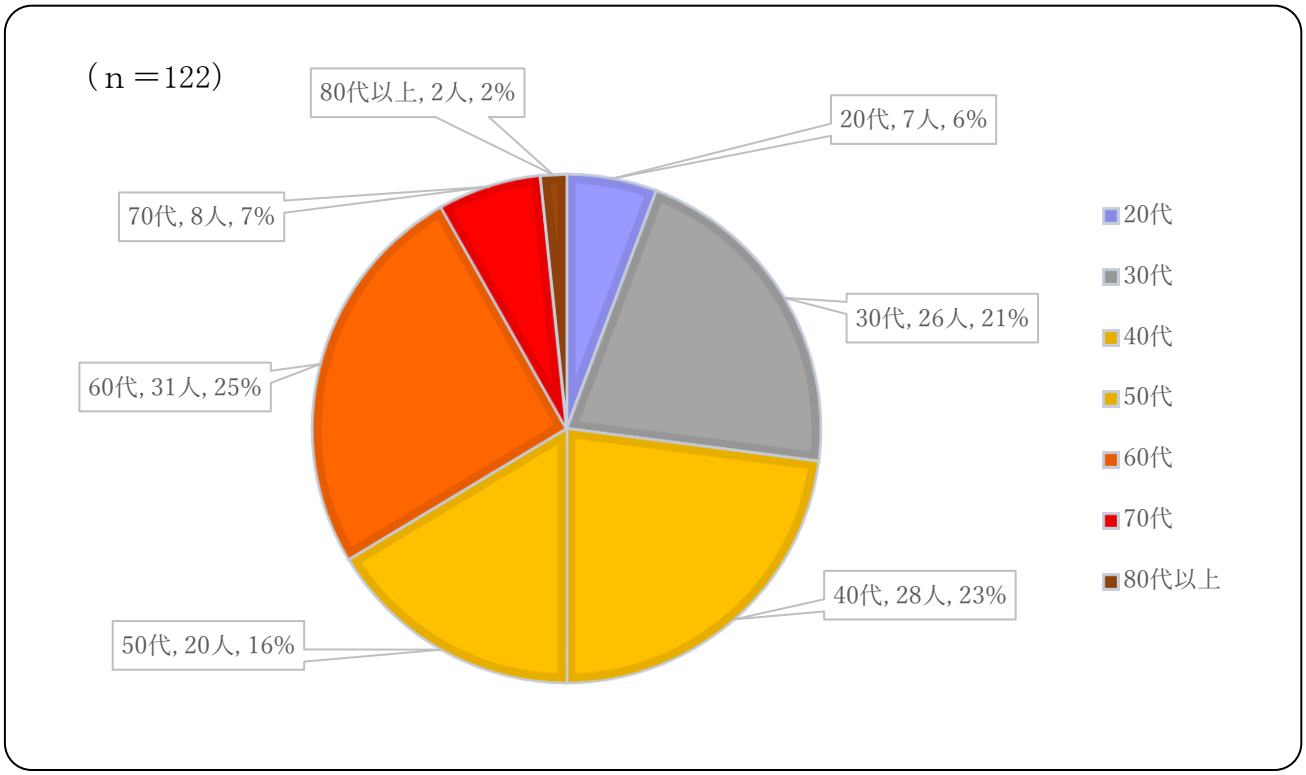
①　日別回答数

日別回答については、５月１８日から５月１９日が多くなっております。



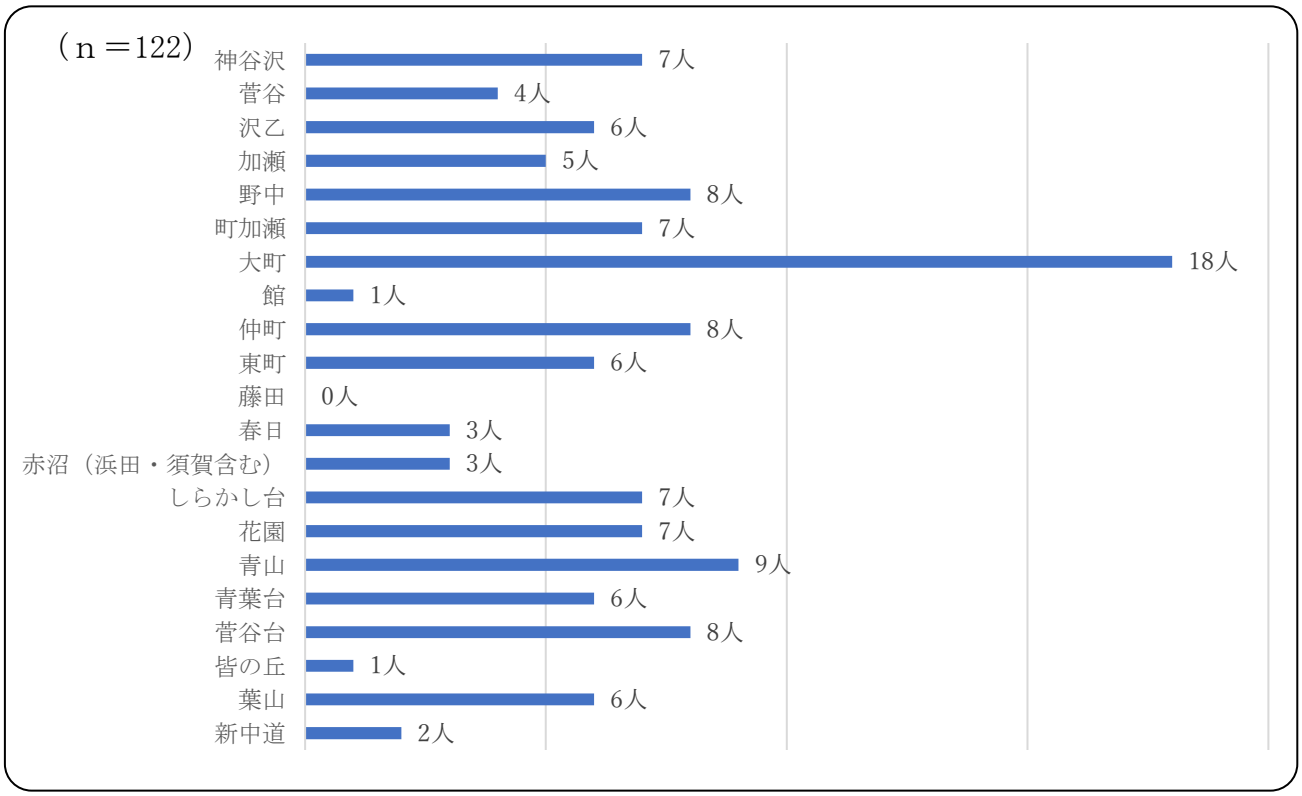
②　年齢別構成

回答者の年齢別構成は、６０代が２５％ともっとも多く、次に４０代の２３％となっております。



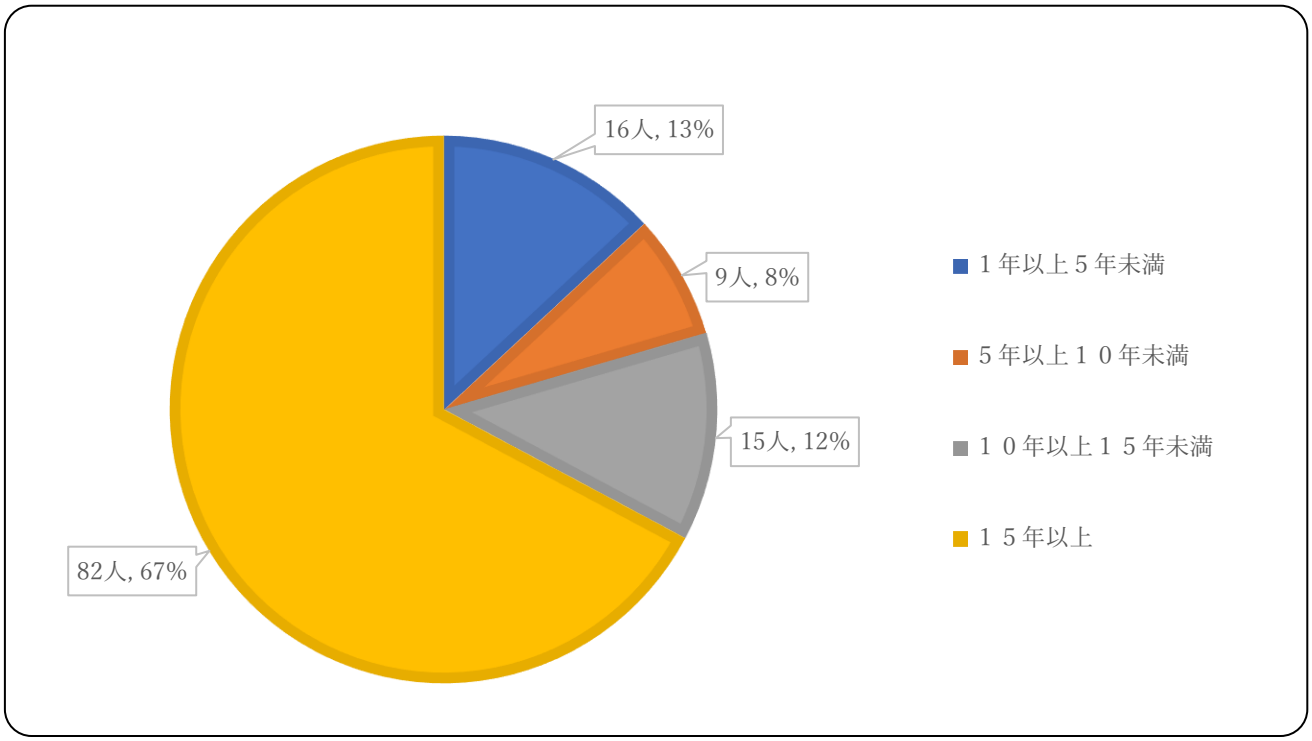
③　地区別回答者数

地区別の回答者数は、大町地区の１８人がもっとも多く、次に８地区が７人から９人となっており、各地から広く回答を頂いております。



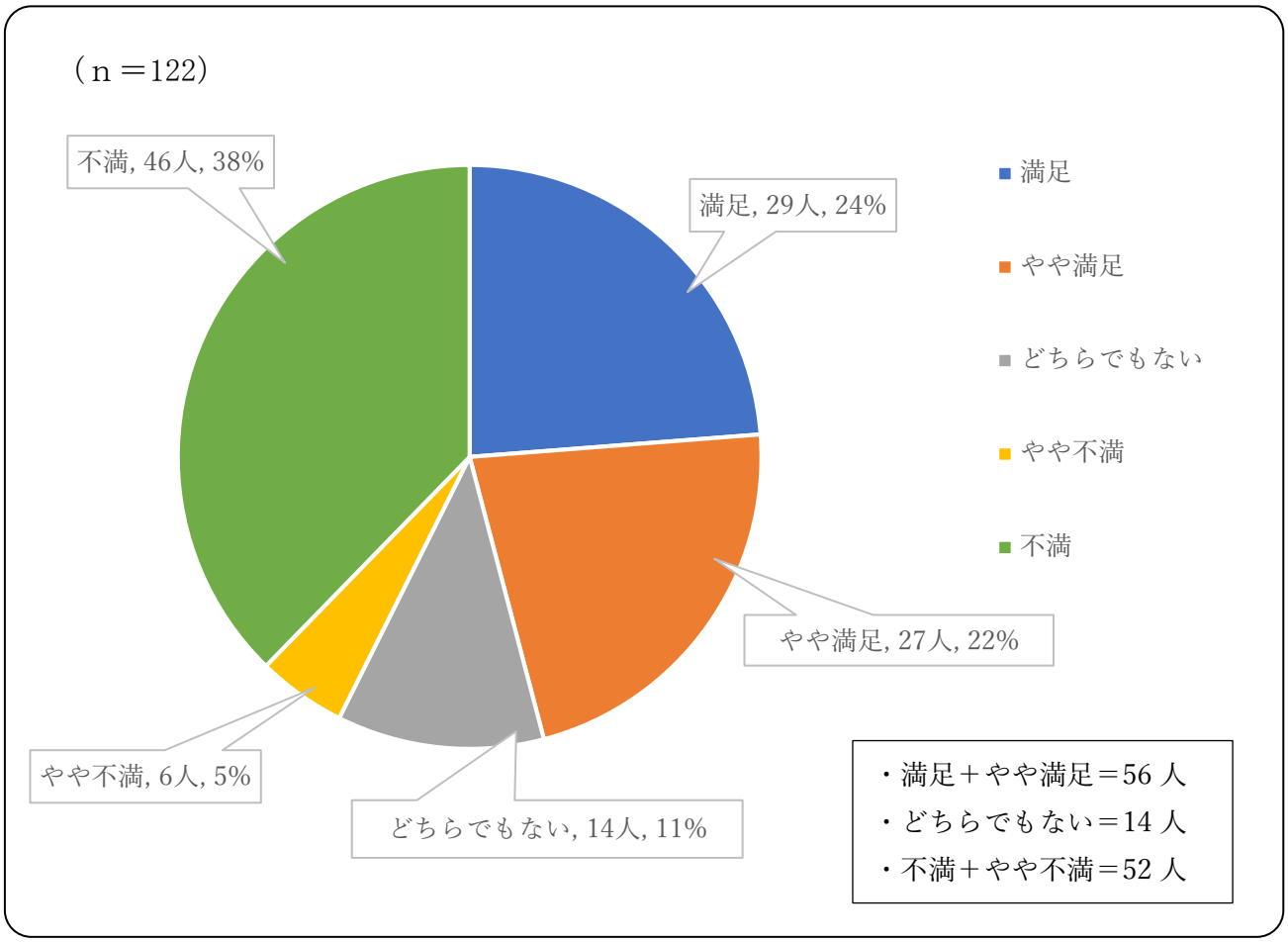
④　回答者別居住年数

回答者別の居住年数は、６７％が１５年以上本町に定住している方となっております。



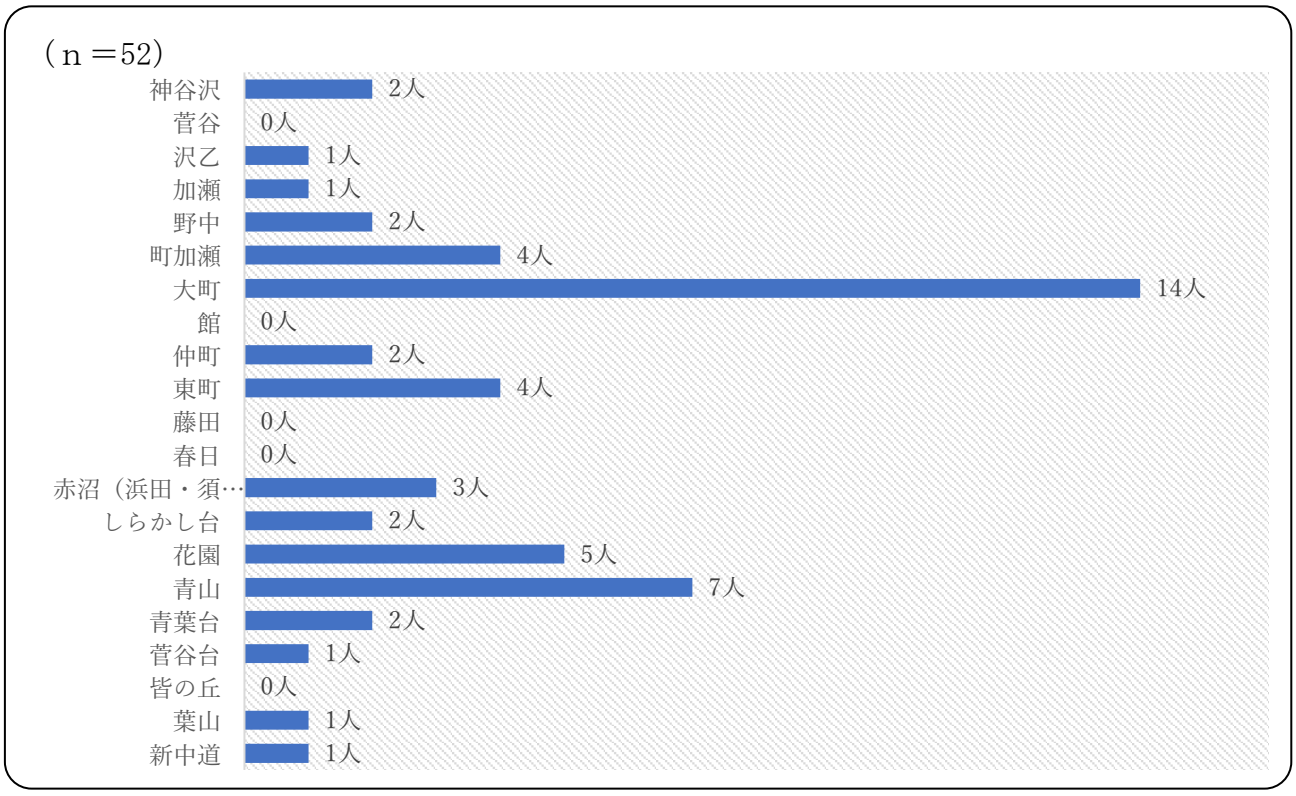
⑤　第３期方針についての評価

第３期方針についての評価は、「満足・やや満足」が４６％、「不満・やや不満」が４３％、「どちらでもない」が１１％となっており、満足と不満の割合がほぼ同じとなっております。



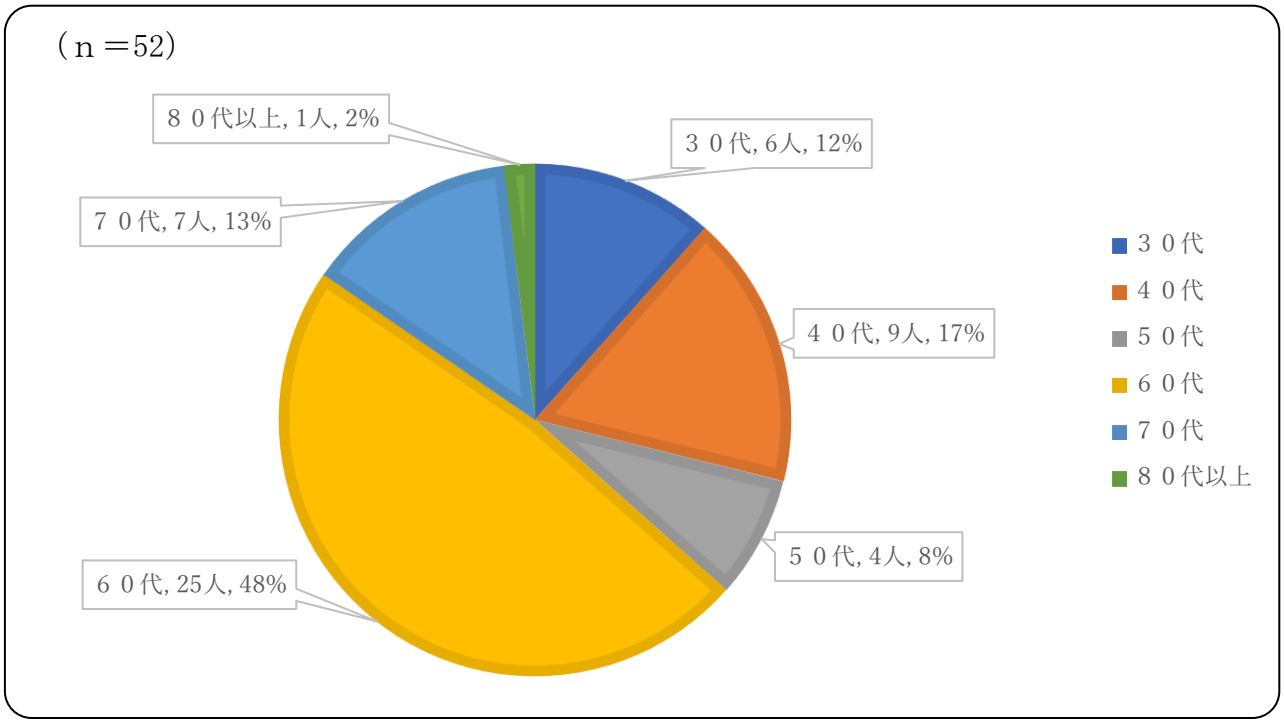
⑥　「不満」「やや不満」と回答した地区別人数

「不満」「やや不満」と回答した地区別人数は、大町地区が１４人ともっとも多く、次に青山地区や花園地区などが多くなっております。



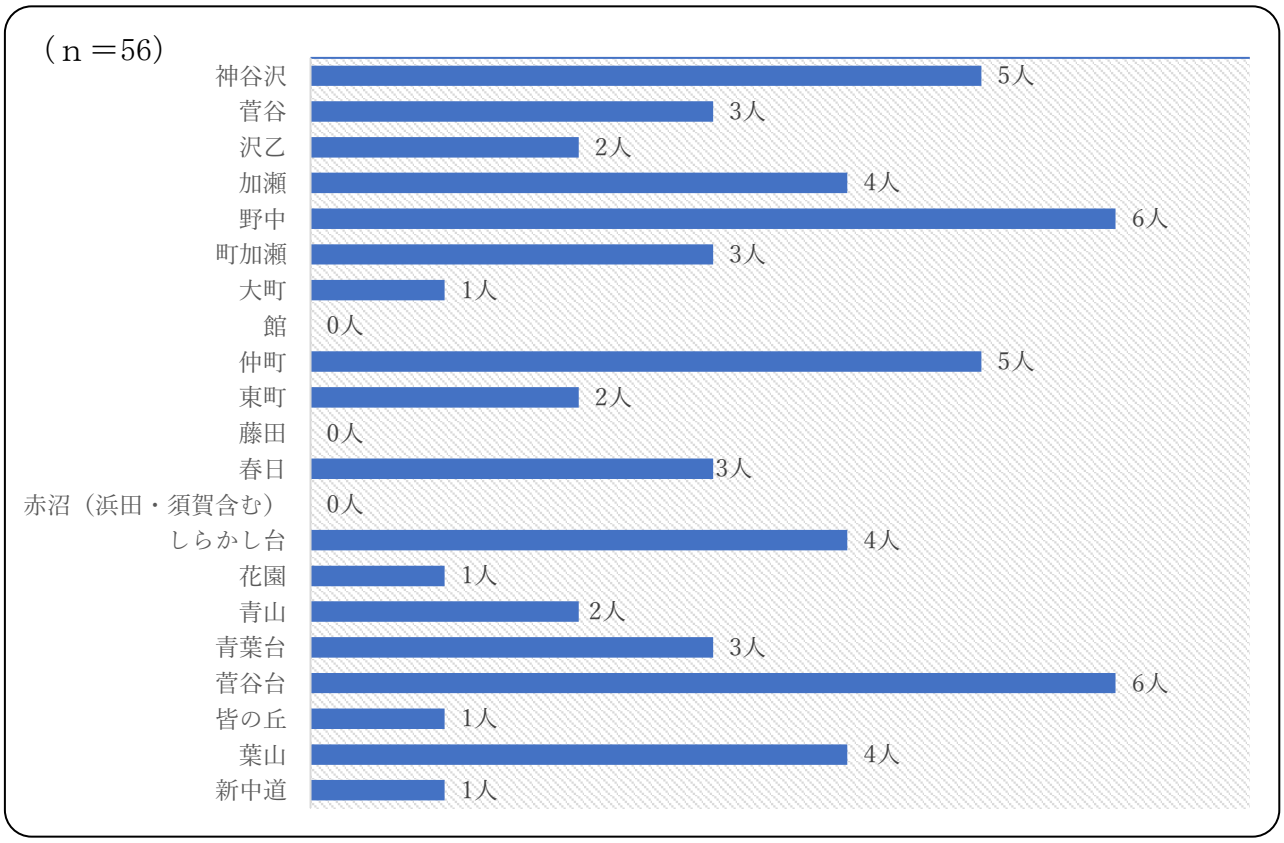
⑦　「不満」「やや不満」と回答した年齢構成

回答した年齢構成については、６０代の４８％がもっとも多く、次に４０代の１７％となっております。



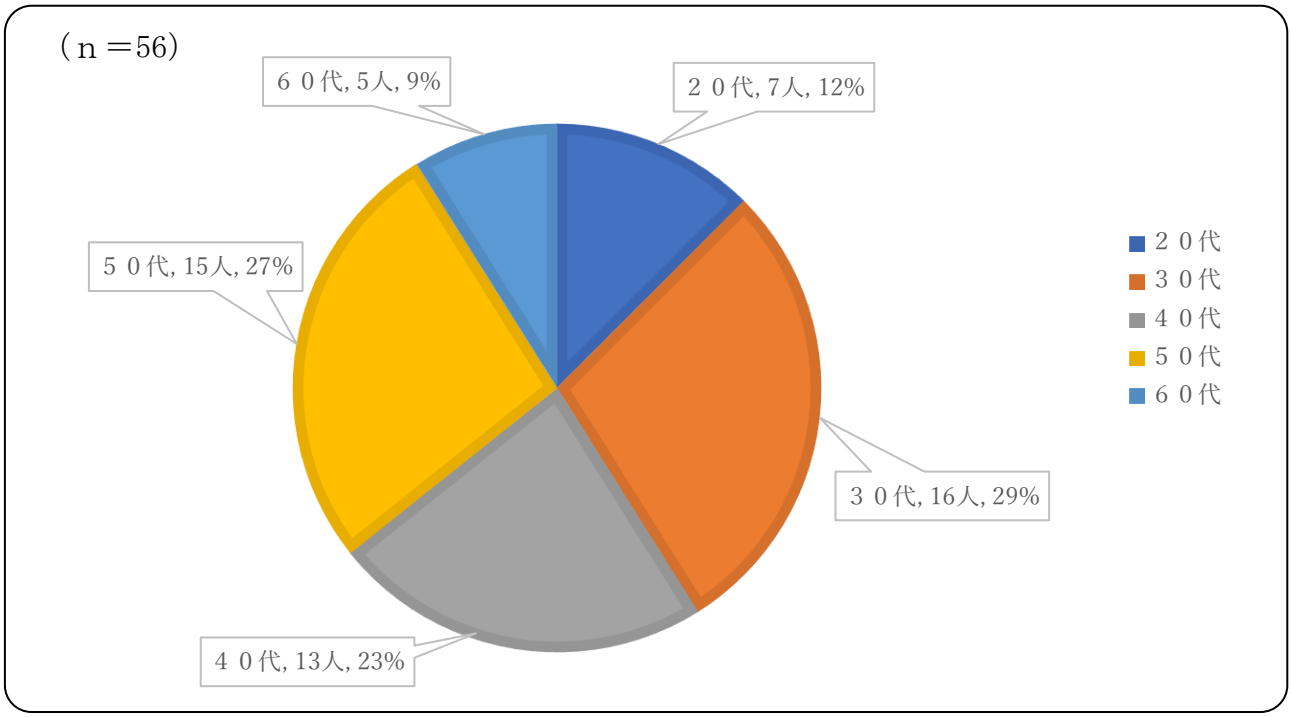
⑧　「満足」「やや満足」と回答した地区別人数

「満足」「やや満足」と回答した地区別人数は、野中地区、菅谷台地区がもっとも多く、次に神谷沢地区、仲町地区となっております。



⑨　「満足」「やや満足」と回答した年齢構成

回答した年齢構成については、３０代の２９％がもっとも多く、次に５０代が２７％となっており、２０代も１２％の回答がありました。



⑩　主な意見

◆「不満」「やや不満」

・マンション建設や土地売却への反対
・サウンディグ型市場調査の信頼性に疑問
・町当局の説明が不足しており、住民を巻き込んだ議論が必要
・シェアオフィスに需要があるか疑問
・マンション建設に伴う日当り・景観への不安
・住民が集まれるコミュニティの場所の整備
・中央児童センターを活かした緑地公園の整備

◆「満足」「やや満足」

・戸建て価格が高騰しているのでマンション建設に賛成
・子育て世代が安価に購入できるマンションに賛成
・カフェ等があれば子連れでも行ける
・利府駅からも近いので若年層には需要がある
・土地を塩漬けにするのは町民サービスの低下につながる
・ハコモノに税金を投資するより、民間に売却し活用した方が良い
・売却したお金を別な事業で住民に還元出来るなら良い
・不要な土地は早く売却し、民間活用をするなら良い

⑪　考察

今回の調査では、「満足・やや満足」が５６人、「不満・やや不満」が５２人となっており、満足と不満の割合がほぼ同じとなっております。

「不満・やや不満」の地区別では、大町地区がもっとも多くなっており、「満足・やや満足」は、野中地区と菅谷台地区が多くなっております。

年齢別では、「不満・やや不満」は、６０代がもっとも多くなっており、「満足・やや満足」は、３０代から５０代までが多くなっております。

次に、満足の主な意見としましては、昨今の戸建住宅価格の高騰によるマンション建設への好意的な意見や、土地売却費を住民に還元するべき、また、地域活性化に資するテナントへの期待などとなっております。

また、不満の意見としましては、土地売却の反対やマンション建設による日照・景観への懸念、シェアオフィスの必要性に対するものなどとなっております。

「満足・やや満足」は若年層が多く、その要因は昨今の住宅価格の高騰や家族構成の変化によるマンション建設への期待や民間活力活用への期待が大きいと考えられます。

逆に「不満・やや不満」は６０代が多く、地区別でも大町地区が多いことから、近隣地区の回答が要因と考えられます。